

青年期の運動行動を規定する要因とメンタルヘルスとの関係

清水 安夫著 5000円

大学生の身体活動の促進に関して心理的・社会的・環境的な規定要因を探索。大学体育における効果的な介入方法とメンタルヘルス改善のための新たなアプローチを検討。

自己複雑性を高める介入プログラムの抑うつ低減効果

川人 潤子著 4500円

抑うつを低減する自己認知の複雑性に関する心理学的プログラムを開発。ランダム化比較試験デザインでの縦断的效果を検討し、プログラムの有用性を示唆する。

睡眠障害に対する認知行動療法—行動睡眠医学的アプローチへの招待—

M.ペルリス・M.アロイア・B.クーン編 岡島義・福田一彦監訳 3200円

眠りを妨げる妨害要因と質の良い睡眠をもたらす促進要因に注目し、睡眠障害の改善を目指す認知行動的アプローチの詳細な手順を紹介。厳選した抄訳による手引き。

エンパワーメント評価モデルに基づく予防プログラム

池田 満著 4200円

教員のメンタルヘルス問題を概観し、バーンアウト予防プロジェクトを実施。プログラム開発と評価の理論的検討から、実効性及び持続的な実践について示唆を得る。

重大なネガティブ体験の意味づけに関する心理学的研究

堀田 亮著 6000円

人は辛く悲しい体験をどのように乗り越えるのか。同化と調節という概念を用いて、10の実証研究を行い、重大なネガティブ体験の意味づけ過程を明らかにする。

嗅覚と自伝的記憶に関する心理学的研究

山本 晃輔著 4500円

ブルースト現象(匂い・香りによって過去の出来事の記憶が想起される現象)の認知メカニズムについて実証的・理論的に検討し、新たなモデルの提案を試みた。

エイズ相談利用促進に関する規定要因の心理学的検討

飯田 敏晴著 6000円

HIV感染及びエイズ発症を「予防する」という視点に基づき、成人期初期の男女に焦点を当てて相談行動の促進とその規定要因について検討し、教育的介入を考える。

トラウマケアとPTSD予防のためのグループ表現セラピーと語りのちから

井上孝代 いたうたけひこ 福本敬子 エイタン・オレン編著 2500円

東日本大震災における被災者の心理社会的支援を行ってきたIsraAID及びJISPの活動を通して、グループ表現セラピーと語りのちからの有効性を明らかにしようとする国際的取組みの書。

職業性ストレスの心理社会的要因に関する実証研究

高岸 幸弘著 6000円

職業性ストレスにおけるストレス—ストレス反応を軸とした様々な心理社会的影響要因との関連を検証。縦断研究モデルを用いて、その因果関係を検討した新著。

女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する心理社会的要因

小林 優子著 5000円

日本で承認されたばかりの子宮頸がん予防ワクチンに対して、女子高校生はどう考えどう行動したのか。接種を促すあるいは阻む要因は何かを検証した研究書。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <http://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp